

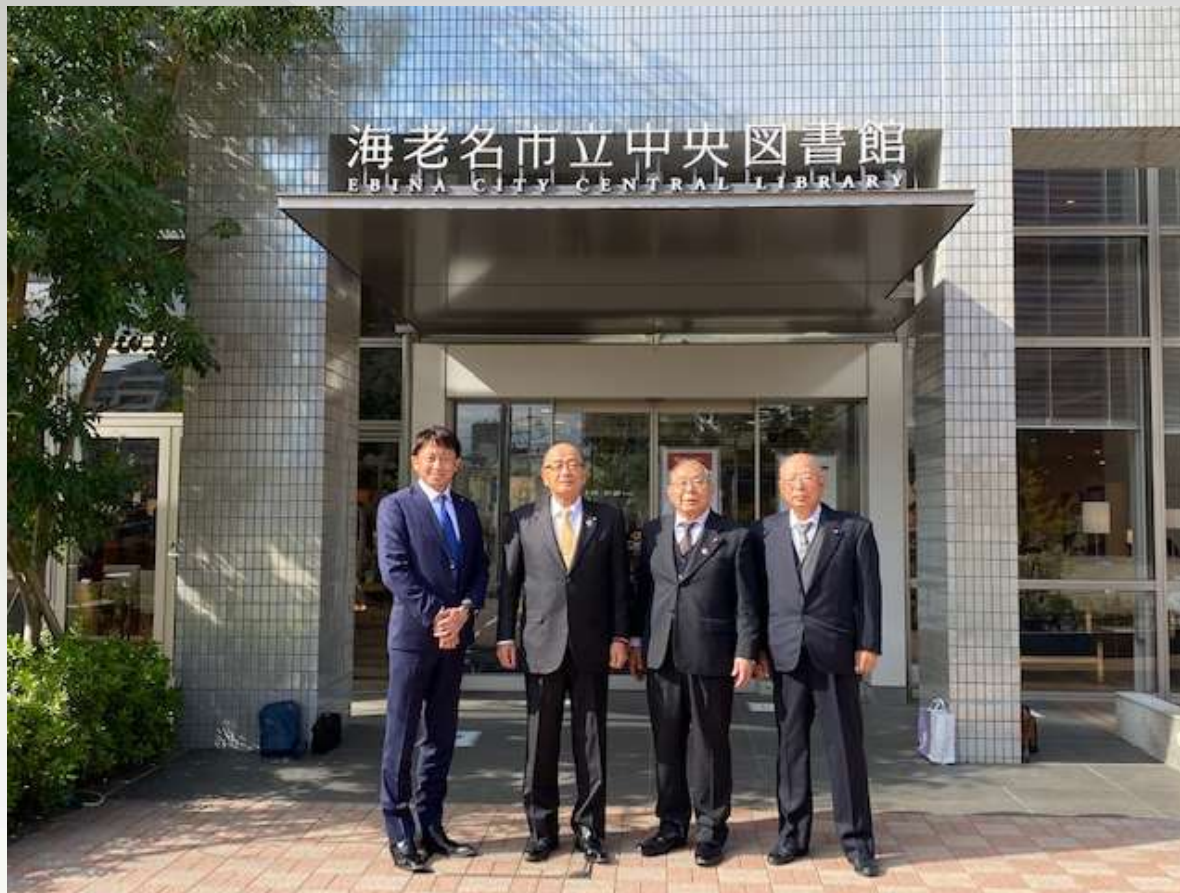
甲斐市議会 新政会 2020年11月1～3日視察研修

秋山 照雄
清水 和弘
清水 正二
伊藤 毅



11月1日 1日目

◎ 神奈川県 海老名市中央図書館



カルチャア・コンビニエンス・クラブ株式会社民間委託

* 図書館の中に蔦屋書店・スターバックスがある。



目的ごとフロアで
分けている



蔦屋書店・スタバがある
のは大きな特徴

キッズスペース

*フロアを分けているのでワイワイできる。



遊びから
学び



親子で安心
楽しいね

学びの場スペース

＊静かに学び、パソコンもOK



学生から社会人多くの方が学習

インターネット環境は嬉しいね

コミュニケーションスペース

楽しそう！！

*様々な目的もOK。



大人の隠れ家スペース

＊静かに研究

多様な目的に対応



南魚沼市図書館

ショッピングセンター
と図書館が一体



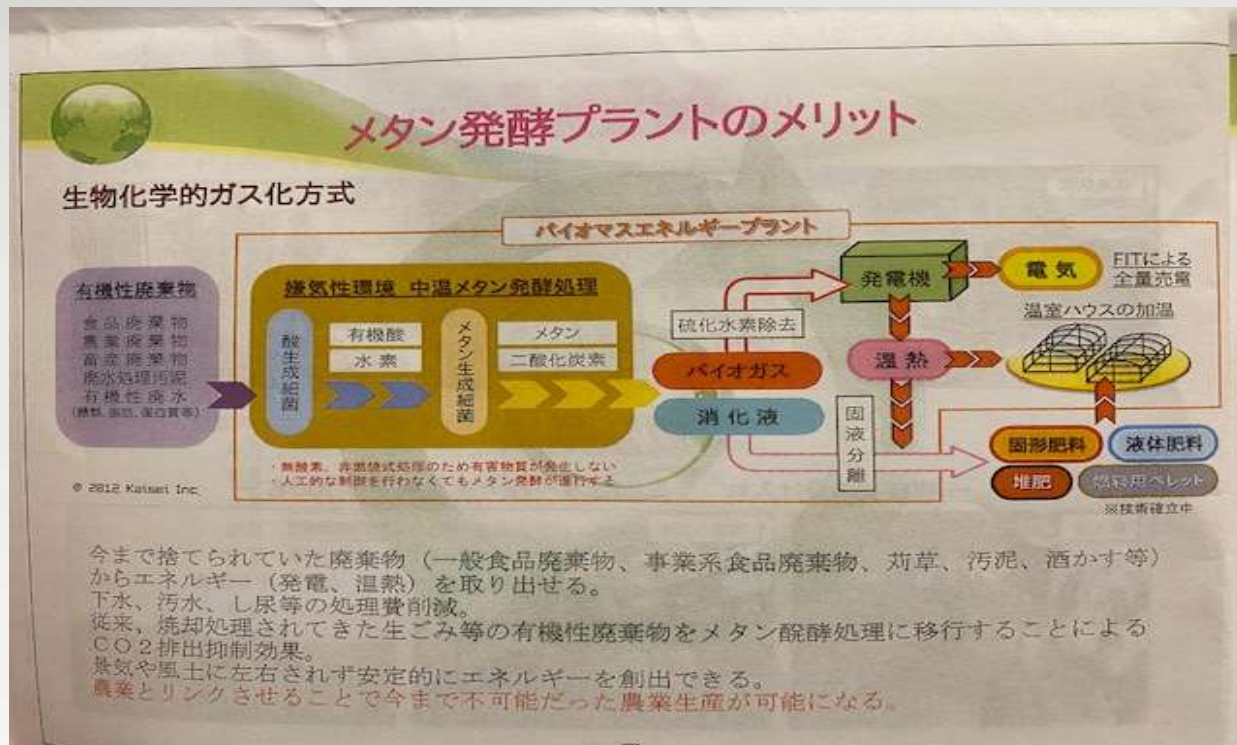
11月2日 2日目

◎ 瀬波南国フルーツ園



バイオガス発電を利用した 循環型農業（社会）システム

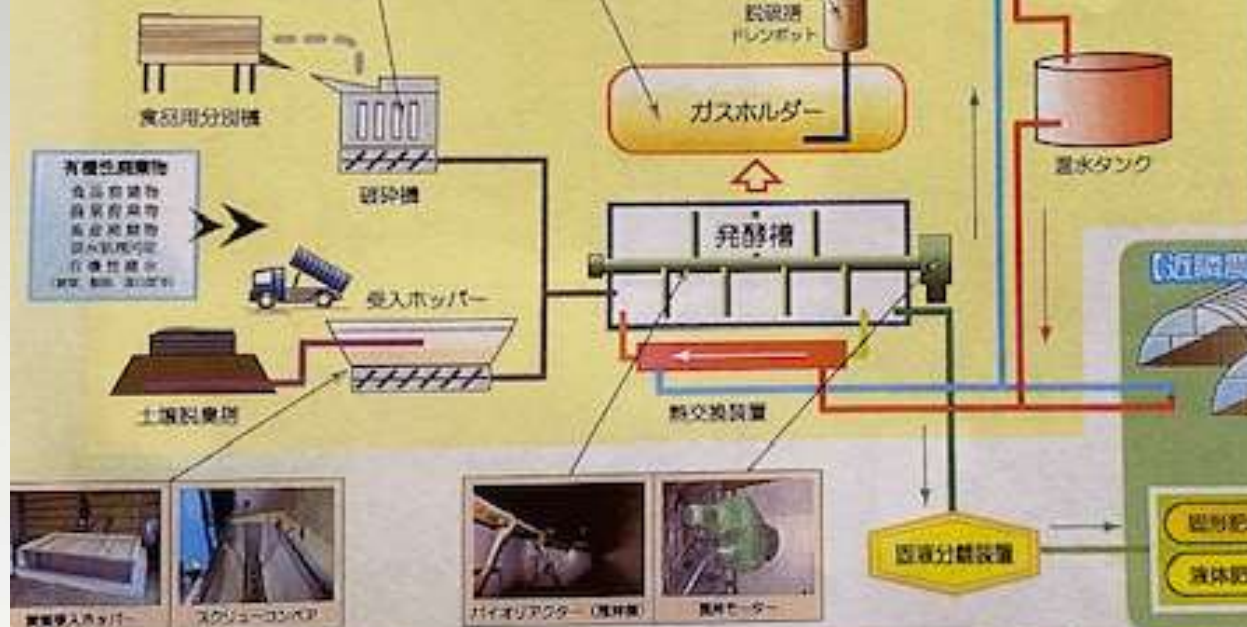
(株)開成



瀬波バイオマスエネルギープラント システムフロー図



〔バイオマスプラント〕



売電

バイオマスエネルギープラント事業の役割

- 1 農業の所得向上
- 2 過剰生産物の有効利用
- 3 畜産物の削減
- 4 再生可能なエネルギー供給への参入
- 5 地球温暖化抑制対策（CO2 排出削減）
- 6 食品リサイクルループの構築
- 7 自治体と連携した取組拠点地域づくり

国内にて製造を促す
 国産原料による生産
 国産原料の活用
 国産原料の活用
 国産原料の活用



〔近隣農地〕

温室ハウス

農業利用

固形肥料
 液体肥料
 糞肥
 飼料ペレット



食品リサイクル・ループの完成



11月3日 3日目

◎ 糸魚川市大火その後



その後の復興。新しいまちへ



■大火を乗り越え、災害に強いまちへ
災害に強いまちづくりに向けて、道路や緊急車両の通行がしやすいように、被災地内にある道路を広くしました。ここ大野町市民公園が直する大火の火元までの通りも、もとは道路幅2~3mの一方通行でしたが、現在は対面通行が可能な6mの道路に広がっています。

火元からの距離が短縮された状況 (通行幅約4mの長さ約2m)
(Shortening of the road behind the fire source (Length of road is about 2m))

また、大火の被災地を中央に横切る本町通り沿いは、「景観・不燃化ガイドライン」等による一定のルールを設け、緑木のあるまちに調和しながら、防耐火性能が高い建物での再建が進められました。

このような災害に強いまちづくりとともに、女性や高齢の方にも使いやすい40ミリホースなどの初期消火設備を市内全域に設置しました。また、市内の小中学生で「こども消防隊」を結成して定期的に訓練を行うなど、糸魚川市野火大の教訓を風化させることなく次世代についでいく取組が行われています。

■坂瀬川用水の活用
市の中心部に流れる坂瀬川用水は1級河川の坂瀬川から取水しています。坂瀬川の取水口を早水で開けると、約70分後に多くの消防車が放水できる状態になります。坂瀬川取水口から約200mの放水水塔などで火災発生初期における放水を行うとともに、坂瀬川取水口から取水することで、より長時間にわたる放水活動が可能となります。



糸魚川市の取組み

- ◎ 建物を準耐火建築物としたり、無電柱化したり防災力の向上を図りつつ、古くから受け継がれてきた雁木のあるまちなみづくりを進めている。
- ◎ 市民が一体（子ども～高齢者）となって居心地の良い集いたくなる駅北の空間づくりを進めている。
- ◎ 耐震性防火水槽200トンを設置
- ◎ 消火栓ホースを女性でも使用しやすい40ミリに交換している。

まとめ

- ◎ 海老名市中央図書館・南魚沼市図書館共に民間との連携により市民にとって利用価値のある愛される施設である。
- ◎ 瀬波南国フルーツ園は若い力、そして地域への貢献の強い思いを感じる、食品リサイクルループを完成させている施設である。
- ◎ 糸魚川市大規模火災2016年12月より、大火を乗り越え、新しいまちづくりが進んでいる。
- ◎ 今後の甲斐市の施設運営・バイオマス都市構想・防災減災対策に活かせるよう会派研究を進めていく。